



松柏中学校アーカイブ通信 第23号 2024年10月28日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

松柏中の牛鬼が校区に感謝の思いと元気を運んだ！

松柏中学校の牛鬼巡行が5年ぶりに完全復活しました。「アーカイブ通信」第21号 八幡浜市旧市街地の牛鬼の歴史を参照) 牛鬼巡行を中断していた過去4回の秋祭りでは、校区の各地区に入って紙垂(しで)を配ることで松柏中学校と地域のつながりを保ってきました。「来年は(牛鬼に)来てもらえるやろうか。」という言葉は何度も耳にしました。

そして松柏中学校最後の1年となった令和6年10月19日、5体の牛鬼が校区を練り歩きました。「〇〇地区は生徒がいないけれど、牛鬼がまわってくると告知プリントにはあった。それならうちの地区も来てほしい。」・・・こんな電話も学校にかかってきました。改めて、地域の方々が、牛鬼の地域訪問を心待ちにしてくださっていたことを実感しました。



【旧長谷小学校を歩く】

松柏中学校は地域と共にある！

そして牛鬼巡行本番。松柏中と地域との結び付きを、どのコースの牛鬼メンバーも実感することになったのです。

僕は郷、木多町、松尾地区を練り歩きました。山道を上っていくのはとても大変でしたが、頭を動かし、慣れてくると楽しくなってきました。その山道で、遠く先の方から駆け寄ってきて、御祝儀を渡される方がいて、驚きました。そしてありがたいなあと思いました。松尾地区はたくさんの方がいましたが、一軒ずつ牛鬼をまわることができました。牛鬼巡行で、地域の方々に感謝の思いを伝えることができました。文化祭でも地域の人たちと盛り上げられるとうれしいです。
(3年男子)

前日の分区会で行った練習どおりに練っていきました。最初は車で旧長谷小まで移動しました。そこから道を下り、地域の家を訪問しました。家の前で牛鬼が来るのを待っている人もいました。地域みんなが牛鬼を見て、笑顔でうれしそうだったので良かったです。松中生全員が大きな声を出して、地域を巡行しました。来週は文化祭準備を頑張ります。
(3年男子)

私は川之内や末広などの地区をまわりました。牛鬼が到着すると、地域の人々がたくさん出してきました。差し入れもいただき、地域の方に本当に温かく迎えてもらいました。私たちのコースは終了予定時刻を大幅に過ぎてしまいましたが、たくさんの方々がまわることができて良かったです。疲れたけれど、松柏中最後の牛鬼巡行を頑張ることができました。楽しい思い出になりました。
(2年女子)



体を動かし、声を出し、仲間と共に創り上げる。学校を出て、地域の中に入り、地域の方々と直接触れ合うことで、感動を味わう。「ありがとう」の一言、手を合わせて拝まれる所作等を見て、たくさんの方々の心と心の触れ合いを感じた半日でした。

私が担当したEコース(川之内～上郷～梨尾～大下～末広地区)でも以下のようなことがありました。

- 「生まれて36日目です。この子が健やかに育ってくれることを願っています。(牛鬼が来てくれて)ありがとうございます。」(夢色団地・写真左)
- 田浪や古藪、南裏、上郷地区など、松中生がいない所では、牛鬼が到着したとき、集会所に多くのお年寄りの方が待ってられました。そして何度も何度も感謝され、通常よりも2回も3回も牛鬼をまわりました。
- 今の松柏中勤務は2回目です。1回目の勤務時代(29年前)に受け持った生徒の保護者の方に何人も出会いました。人権サークル「プロGRESS」のスタート時の関係の方にも出会いました。
- P.T.A.会員や公民館関係の方の協力なくして、今回の巡行はありえませんでした。前もって牛鬼が来ることを連絡していたり、「集落から離れているけれど、我が家も必ず訪問してほしい。」といった地域からの連絡も整理してルートを設定されたりして、効率よくまわることができました。

前日の練習では、竹法螺（たけぼら）が最初の方は全然吹けず、悔しかったのですが、後半はだんだん音が出るようになりました。そして本番もしっかり吹けました。今回、地域をまわってみて思ったことは、こんなに温かい人たちが地域にいるのだなあということです。この人たちがいてくれるおかげで、私たちは安全に過ごせているんだなあ。これからは地域の方に感謝をしながら過ごしたいです。（1年女子）



今日の牛鬼巡行を通して、松柏中は地域の方から愛されているのだなあと改めて感じました。事前に思っていた以上に、牛鬼を見に来る方が多くてうれしかったです。牛鬼を担ぐのは大変だったけれど、地域の方々の笑顔を見ることができて良かったです。松柏中から地域の方々への恩返しは大成功だったと思います。（1年女子）

【写真左：郷地区】 【写真左下：南裏地区】



今日の牛鬼巡行を頑張りました。僕は主に牛鬼を担ぐのを担当しました。重たかったけれど、声を意識して出しました。特に最後の方は、大きな声を出しました。たくさん歩いて疲れたけれど、地域の方々が笑顔になってくれて良かったです。（1年男子）

10月23日付け愛媛新聞に「アーカイブコース」の活動が紹介されました。

取材を受けたのは10月8日（火）でした。コースでの学習の説明と、実際に活動をしている生徒へのインタビューで、合わせて2時間（！）の取材を受けました。卒業アルバムや、保護者に実施したアンケートの回答などを分析し、松柏中学校の歴史をテーマごとに調べている「科捜研」班ですが、文化祭では代表して2班がステージから報告を行います。どのグループも研究成果を模造紙にまとめ、体育館に掲示します。一方、「るるぶ」班は、昨年度を上回る1982年（実質は1980年頃）の松柏中校区の復元地図を展示します。当時、家の近所にあったあの店が見つかるかもしれません。



【取材を受ける「科捜研」班】



【同じく「るるぶ」班】